

# 9月は「世界アルツハイマー月間」



## 21日は「世界アルツハイマーデー」

アルツハイマー病は認知症の原因疾患の一つで、認知症の中では最も多い疾患です

本町の高齢化率は令和5年4月1日現在で46.86%。認知症は高齢になるにしたがって増加し、全国では約460万人が認知症とされ、治療薬や適切な対応が必要なことから、早期発見・治療が強く叫ばれています。



だれしも訪れる老化と認知症の違いは、「体験の一部を忘れても全体は忘れない（老化）／全体を忘れる（認知症）」「物忘れを自覚している／自覚に乏しい」「人や場所、時間に関してほぼ正しく認識できる／正しく認識できにくくなる」「日常生活に支障はない／支障をきたすことがある」などが早期発見のヒントとされています。まずは理解を！（広報編集室）

### 資料展示・貸し出し

同月間に合わせ、町社会福祉協議会と連携し、認知症に関連する資料の展示、貸し出しを行います。

期間 9月5日(火)～30日(土)  
場所 図書館 展示コーナー  
冊数 30冊  
詳細 図書館 ☎82-3000

### 啓発活動

「もっと知ろうもっと語ろう認知症」をテーマに、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的に、啓発活動を行います。

日時 9月1日(金)～29日(金)  
会場 いきいき4・6 ロビー  
内容 ①認知症関連図書コーナーの設置  
②えがおの花咲く写真展 in 白老 2023 (町内グループホーム入居者の写真展)  
③認知症啓発パネル展  
主催 白老町認知症の人と家族などの会  
詳細 同会事務局 (町社会福祉協会内) ☎82-6306

### 認知症サポーター

認知症を正しく理解し、地域で認知症の方やそのご家族の方を温かい目で見守り、できる範囲で手助けする応援者です。

講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守り、まちなかで困っている人がいたら声をかけたり手助けしてもらえたらと考えています。



### ■どうすればなれるの？

養成講座を受講すれば、誰でもなることができます。町は平成26年から毎年、町内の学校や町内会、企業の方を対象に認知症サポーター養成講座を開催しており、団体や少人数向けの講座も随時開催しています。

### ■講座の内容は？

講座時間は90分です。認知症の症状や認知症の方への接し方、認知症と物忘れの違い、認知症の予防などについて学びます

詳細 高齢者介護課 (地域包括支援センター) ☎82-5560

### 相談窓口

町地域包括支援センター  
町総合保健福祉センターいきいき内  
☎82-5560

### もの忘れ外来

町立病院  
もの忘れ外来 (第4木曜のみ) 三愛病院出張医  
☎82-2181

町内では、気軽に訪れて学びや相談、体操などで有意義な時間を過ごせる認知症カフェ、介護予防サロンが、医療機関・老健施設・団体により展開されています。本紙「暮らし百科」ページでも毎月、開催情報を提供していますので、関心のある方はぜひ参加してください。

## 秋の交通安全運動

9月21日(木)～30日(土)

白老町は秋の交通安全町民総ぐるみ運動を実施します。

- ① 薄暮時の早め点灯運動・パトライト作戦 (社台～虎杖浜の各地区)
- ② 早朝街頭指導 (登校時の児童、生徒の交通事故防止)
- ③ 旗の波運動 (国道36号通過車両に対して啓発旗を使用)
- ④ 街頭啓発 (町内のスーパーへの来店者に対して啓発用品を配布)

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

問い合わせ先：総務課 防災交通室 ☎85-3080